

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人医療介護ケア協会 らいおんハート遊びリテーション児童デイ相武台		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様や保護者様のニーズに合わせた個々の支援が充実しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能型事業所の特徴でもある小人数での支援を生かすことでお子様一人一人に対してスタッフの支援が行き届きやすく、個別のニーズに合わせた療育ができています。 ・全体活動以外の自由に遊ぶ時間においても、お子様一人一人の強みや出来たことをより見つけることができています。 ・全体での活動に入りづらいお子様に対しては、個別の活動や刺激の入れ方を行うことで安心して興味をもって過ごせるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様やご家族のニーズをより聞き取っていくことで個々に合わせた支援を行っています。 ・今後もお子様の強みや出来たことをWeb上の連絡システムにてより共有していきます。 ・個別課題等において専門的支援をより実施していきます。
2	毎月、事業所でのイベントや活動内容をお便りにて報告しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で行った活動や特に印象的だったことなどについてお便りを通じて保護者様に共有しています。 ・普段の生活や子育てに有益な情報なども記載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から寄せられたご質問や子育てする上で一般的に多く見られる悩みなどにお答えする機会を作ることで様々な形でお互いに情報共有できる機会を設けていきます。またスタッフだけでなく保護者様からの声なども取り入れ、より興味の持ちやすい内容となるように作成していきます。
3	日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・Web上の連絡システム(HUG)を用いることで利用日当日中に活動の様子を文章で記載したり、様子に合わせた写真を載せています。 ・送迎時にお子様の利用時の様子を伝えたり、ご家庭や学校での様子をお聞きしています。 ・保護者様のお子様との関わりや悩み、生活上でのお困りなど保護者様のケアも必要に応じて心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お仕事等により送迎時に直接、お会い出来ない方や非対面でのコミュニケーションを好む方に対してより電話やメッセージでの支援を充実させてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の機会を設けることによって自由に交流したり、お互いに相談し合える機会が不足しているため増やしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に保護者参観日を設けているが、複数日で行っているため保護者様同士が交流できる機会が少なくなっていました。 ・お子様の様子を見て頂く時間が多く、意見交換会などの時間を設けられていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日の実施をより多くしたり、ニーズに合わせて土曜日等の保護者様が来所しやすい曜日・時間に意見交換の場などを設けていきます。 ・保護者様がより自由に相談しあえたり、意見を交換し合える機会をスタッフ仲介のもと作っていきます。
2	幼稚園・保育園などの他機関や地域における交流の機会が不足しているため増やしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は老人ホーム等へ敬老の日の訪問を行いました。 ・平日に地域でのイベント等に参加することが難しく、交流できる機会が少なくなっていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みや祝日等に参加できる地域のイベントを積極的に取り入れていきます。 ・老人ホーム以外に訪問できる施設等を探していきます。 ・日頃より幼稚園、保育園を併用しているお子様が多いため、幼稚園・保育園の行事等には積極的に参加できるように利用日の調整等も行っていきます。

3			
---	--	--	--